

日本政策総研 みやわき経済3分レポート(No.69)(2025.08.18)

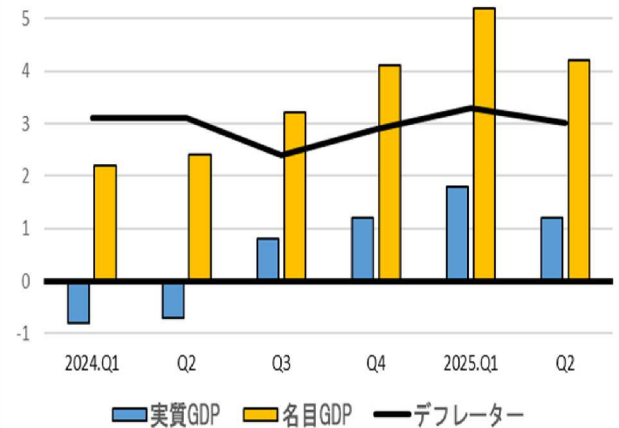
《日本経済》

日本政策総研代表取締役社長
宮脇 淳

日本GDP4-6月期プラス経済成長、但し水準低下

4-6月期の日本経済は実質前年比1.2%成長、同前期比年率1%成長となった。前期比による成長スピードはやや加速したものの、成長水準は2025年1-3月期に比べて低下している。低下の主因は、内需で民間消費の低迷にある。経済全体の物価を示すGDPデフレーターは3%の水準で推移しており、賃金引上げが個人消費の拡大に結びついていない。名目成長も成長水準が低下している。(資料:内閣府「国民所得統計」)

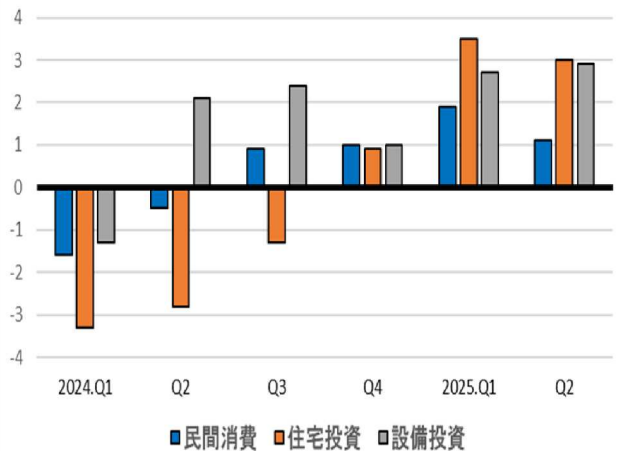
日本GDP(前年比%)



個人消費減速、住宅投資・設備投資相対的に堅調

日本経済の個人消費は、2025年4-6月期前年比1.1%成長、1-3月期同1.9%に比べて成長水準が低下した。GDPデフレーター3%に比べて、個人消費のデフレーターは2.3%と低く、物価上昇の影響と同時に消費マインド悪化が大きく影響している。住宅投資は、2024年度に大きく減少した反動もあり、個人消費に比べて高い水準となっている。設備投資は、維持更新、半導体投資等比較的堅調な推移にある。(資料:内閣府「国民所得統計」)

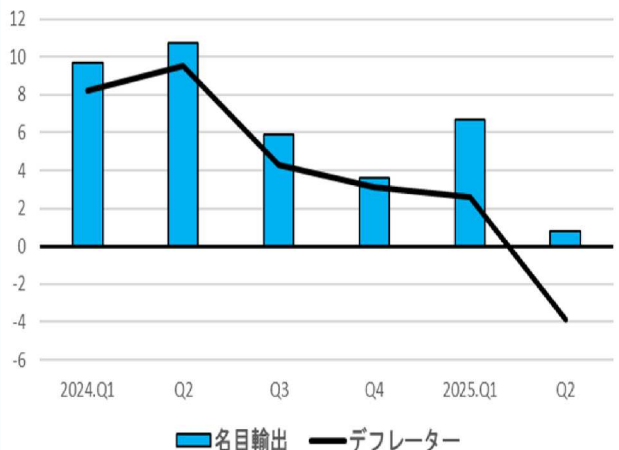
日本GDP消費・住宅投資・設備投資(前年比%)



輸出価格下落傾向

日本経済の名目輸出は、2024年後半に減速をはじめ2025年1-3月期にはトランプ関税政策回避の影響による前倒し需要で増加したものの、4-6月期は前倒し需要が減少し前年比で大きく低下している。トランプ関税政策が日本経済にも混乱を与える要因となっていることが分かる。同時に、輸出物価のデフレーターを見ると前年比で4-6月期はマイナスとなっており、トランプ関税による輸出側の価格下落傾向がみられる。資料:米国財務省)

日本経済輸出・デフレーター(前年比%)



内容に関するお問い合わせ : (株)日本政策総研 業務企画部

TEL: 03-3830-0611/ FAX: 03-3830-0612

e-mail: miyawaki@j-pri.co.jp

ご質問QRコードが読み取れない場合は右記URLからご登録ください⇒ URL: <https://forms.gle/H7jdEfktQ4S87nNC6>